


アプリケーション部会活動報告



2011年11月21日
アプリケーション部会長
吉田 正敏

Worldwide Top 10 Packaged Software Vendors in Revenue, 2007

■ 世界ソフトウェア市場 (ベンダ売上 トップ10)

ソフトウェア市場は、
数社の欧米系企業中心。

アジア系の企業は、
Top10にいない。

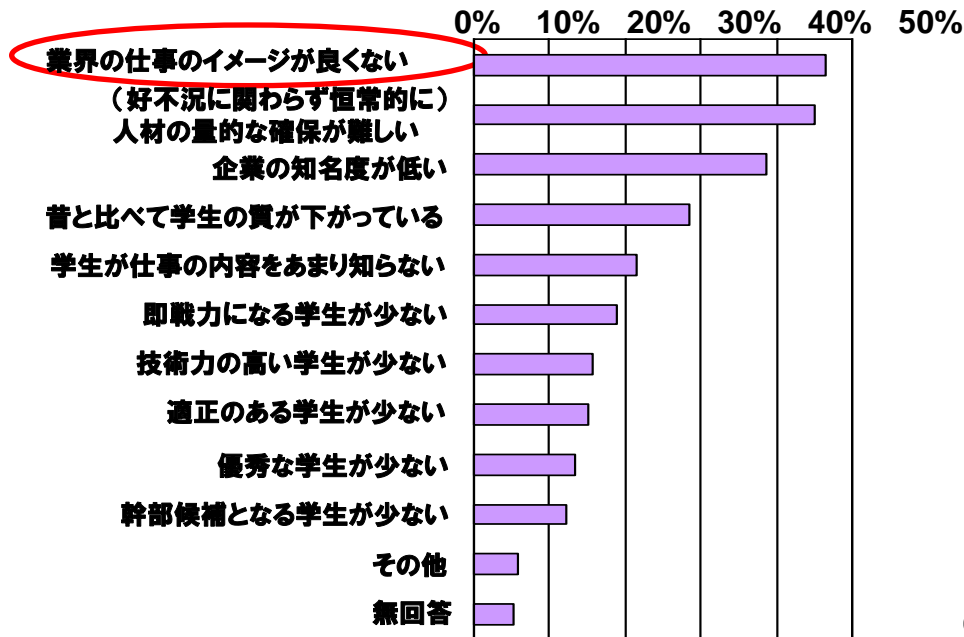
Ranking	Vendor
1	Microsoft
2	IBM
3	Oracle
4	SAP
5	Symantec
6	HP
7	EMC
8	CA
9	Siemens
10	Adobe

Source: Worldwide Packaged Software Revenue by Top 100 Vendors, 2005-2007 (\$M)
Worldwide Software 2008--2012 Forecast Summary [#213259]

■ ソフトウェア市場は数社の企業が独占状態

日本企業がソフトウェア市場全体をリードできるような
新たなビジネスモデルが必要

■ 日本国内では、IT産業が魅力的では無くなってきている



【日本のIT業界の7K】 <日本語発音>

- きつい <Kitsui>
- 帰れない <Kaerenai>
- 給料が安い <Kyuryou-ga-yasui>
- 規則が厳しい <Kisoku-ga-kibishii>
- 休暇がとれない <Kyuuka-ga-trenai>
- 化粧がのらない <Keshou-ga-noranai>
- 結婚できない <Kekon-dekinai>

出典:独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)

IT人材育成本部 ITスキル標準センター

IT人材市場動向予備調査【調査結果報告】

～新卒採用の状況(全体)～ P33

URL:<http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/activity/activity2.html#20080129>

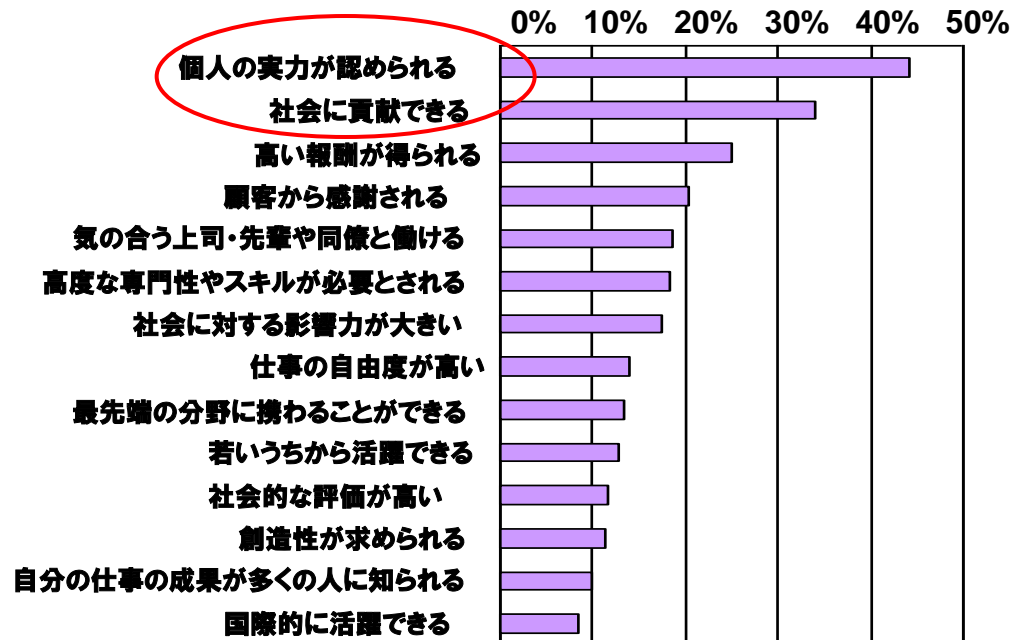
IT業界の仕事のイメージアップが必要。

部会発足前のIT技術者の期待

■ IT技術者のやりがい

個人の実力が認められる。
社会に貢献できる。

OSS
活用



出典:独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)IT人材育成本部 ITスキル標準センター IT人材市場動向予備調査【調査結果報告】(後編) ~仕事におけるやりがい(全体)~ P22

URL:<http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/activity/activity2.html#20080129>

■ オープンソース開発で実現できること

大組織でなくても個人のソフト開発能力があれば、グローバルに活躍できるチャンスがある。
共有財産として、社会全体の成長に貢献できる。

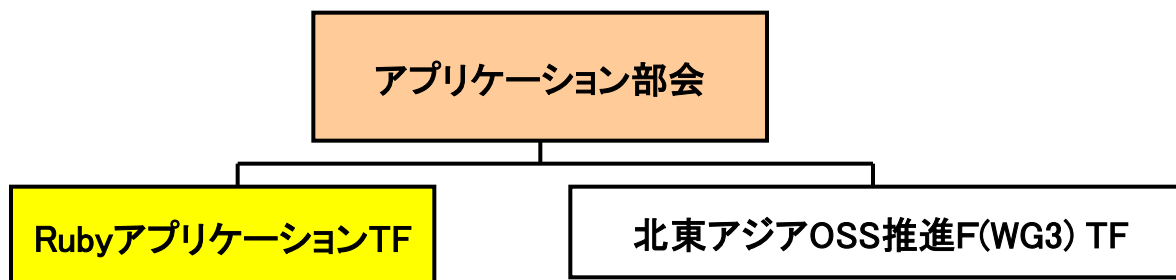
アプリケーション部会発足の目的

■発足の思い

- 開発したソフトをOSSという形で共有し、知的活動を累積型で残す。
- ソフト開発者のスキルをオープンにし、グローバルに評価される開発能力や伝道能力をアップする。

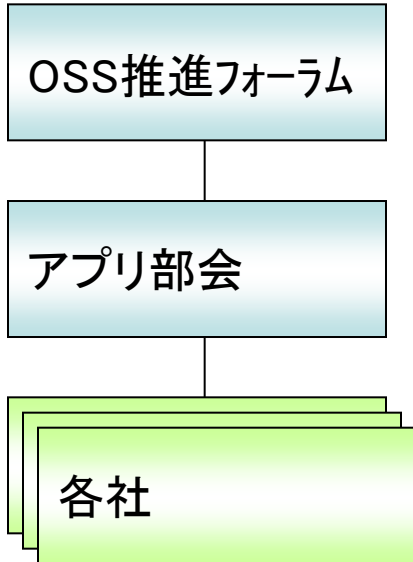
■活動目標

- OSSアプリケーションを評価／開発し、現状の課題を検討。
- OSSアプリケーションのビジネスモデルを検討。
- OSSアプリケーションの利用拡大のため、OSS普及推進。
- 政府の情報システムを調達する際の標準的なオープン技術を規定した技術参照モデル(TRM)について、TRMに対応するOSS製品の成熟度を調査する。

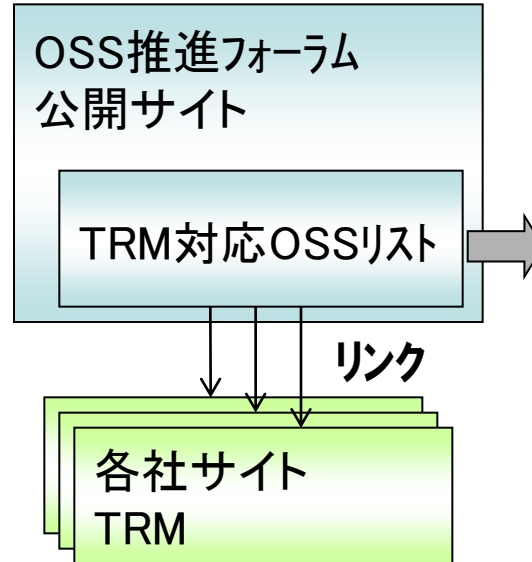


技術参照モデル (TRM) 対応内容

< 推進体制 >



< 公開イメージ >



< TRM対応OSSイメージ >

章番号	機能・サービス	対応ソフト	備考
5.1	BI/DWH/ETL		
5.1.2	ビジネスインテリジェンス	Pentaho	
5.1.3	データウェアハウス	PostgreSQL MySQL	
5.1.11	レポーティングツール	iReport	

< 作業・スケジュール >

- ・アプリケーション部会でTRM対応OSSリストを作成(2009年度1Q)
- ・**OSS推進フォーラム公開サイトでTRM対応OSSリスト公開(2009年度2Q)**
- ・**TRM対応OSSリストから各社が作成したTRM対応ソフトをリンク(2009年度2Q)**

この活動が、その後北東アジアOSS推進フォーラムWG3
に展開される ⇒ WG3報告参照

Rubyアプリケーション推進TF



目的とメンバー

- **活動目的** RubyベースのOSSアプリケーション開発と普及
- **主査** 2008~2009年度 富士通)吉田 正敏, 2010~2011年度 富士通ソーシャルサイエンスラボ(トリ)原 嘉彦
- **メンバー**(敬称略、50音順)

伊藤 順子	日本電気株式会社	伊藤 宣博	キヤノンITソリューションズ株式会社
今給黎 道明	キヤノンITソリューションズ株式会社	岩岡 泰夫	日本電気株式会社
大浦 順史	株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボ(トリ)	大木 一浩	日本電気株式会社
大澤 一郎	独立行政法人産業技術総合研究所	小川 知高	株式会社アシスト
神谷 昌直	株式会社アシスト	木村 守宏	株式会社シーイーシー
小林 信雄	株式会社ホンダエンジニアリング	篠田 健	日本ユニシス株式会社
鈴木 友峰	株式会社日立製作所	高田 剛	アースインターシステムズ株式会社
多賀野 進	アースインターシステムズ株式会社	谷相 貴美	株式会社マインド
筒井 敏人	株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボ(トリ)	藤部 孝志	アースインターシステムズ株式会社
土志田 宏人	株式会社シーイーシー	鳥居 慎司	株式会社 ケイビーエムジェイ
中島 雅彦	株式会社日立製作所	永海 隆俊	株式会社テクノプロジェクト
仲村 秀樹	株式会社ホンダエンジニアリング	野山 孝太郎	富士通株式会社
橋本 明彦	みずほ情報総研株式会社	長谷川 恭男	株式会社 ウイップス
早川 英治	富士通株式会社	廣田 哲也	株式会社シーイーシー
原 嘉彦	株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボ(トリ)	藤田 剛	サイオステクノロジー株式会社
藤田 祐治	エンタープライズDB	堀江 謙一	株式会社日立ソリューションズ
松永 和男	株式会社シーイーシー	松葉 大造	株式会社シーイーシー
室脇 俊二	株式会社テクノプロジェクト	森 孝博	富士通株式会社
屋代 和将	株式会社マインド	山崎 靖之	サイオステクノロジー株式会社
吉田 正敏	富士通株式会社	吉野 良成	日本ユニシス株式会社

- **2008年度**
 - 既存OSSアプリケーションの勉強／技術習得／評価／改善検討
 - Ruby on RailsベースのOSSアプリケーションのプロトタイプ開発
 - OSSアプリケーション活動の広報
- **2009年度**
 - Ruby on RailsベースのOSSアプリケーション開発
 - Ruby on Rails検証報告書作成
 - OSSアプリケーションのビジネスモデル提案(SaaSモデル)
 - OSSアプリケーション活動の広報
- **2010年度**
 - Rubyベースのアプリケーション事例収集
 - OSSアプリケーション活動の広報
- **2011年度**
 - Rubyベースのアプリケーション事例収集
 - OSSアプリケーション活動の広報

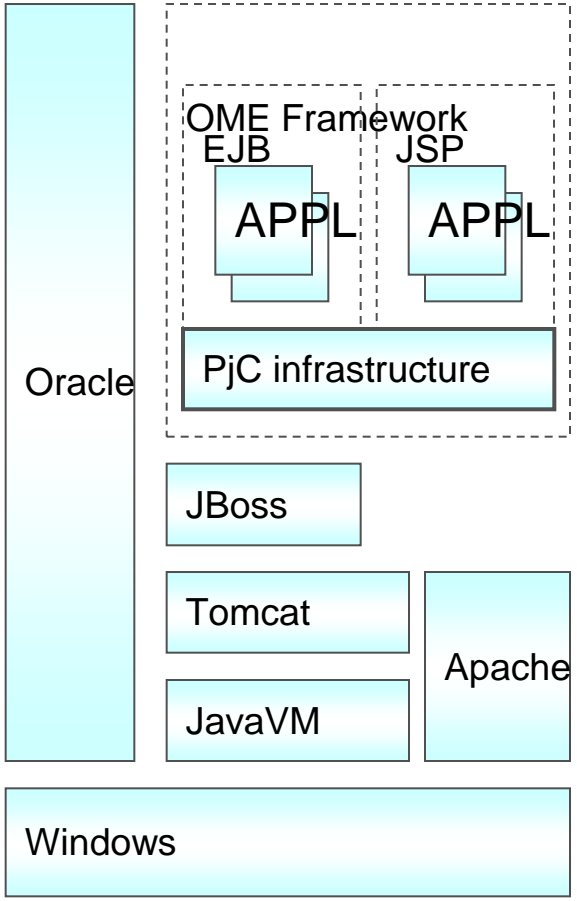
OSSアプリケーション開発 2009年度

Ruby on RailsベースのOSSアプリケーション

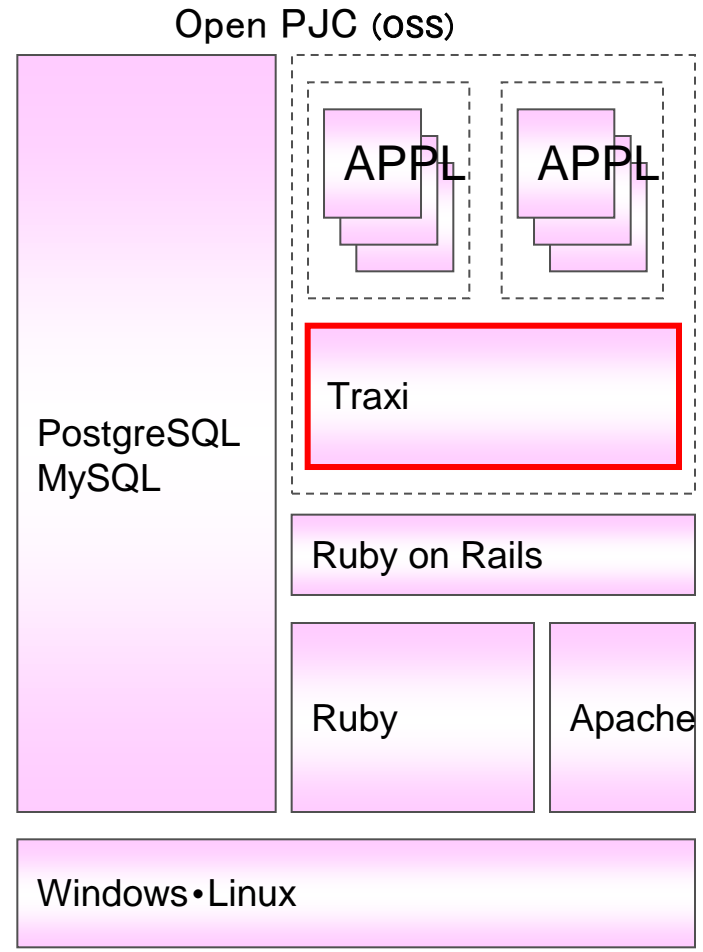
OpenPJC公開

<http://sourceforge.jp/projects/open-pjc/>

Project Collaboration
(アースインターシステムズ株式会社)



Changing to
OSS version

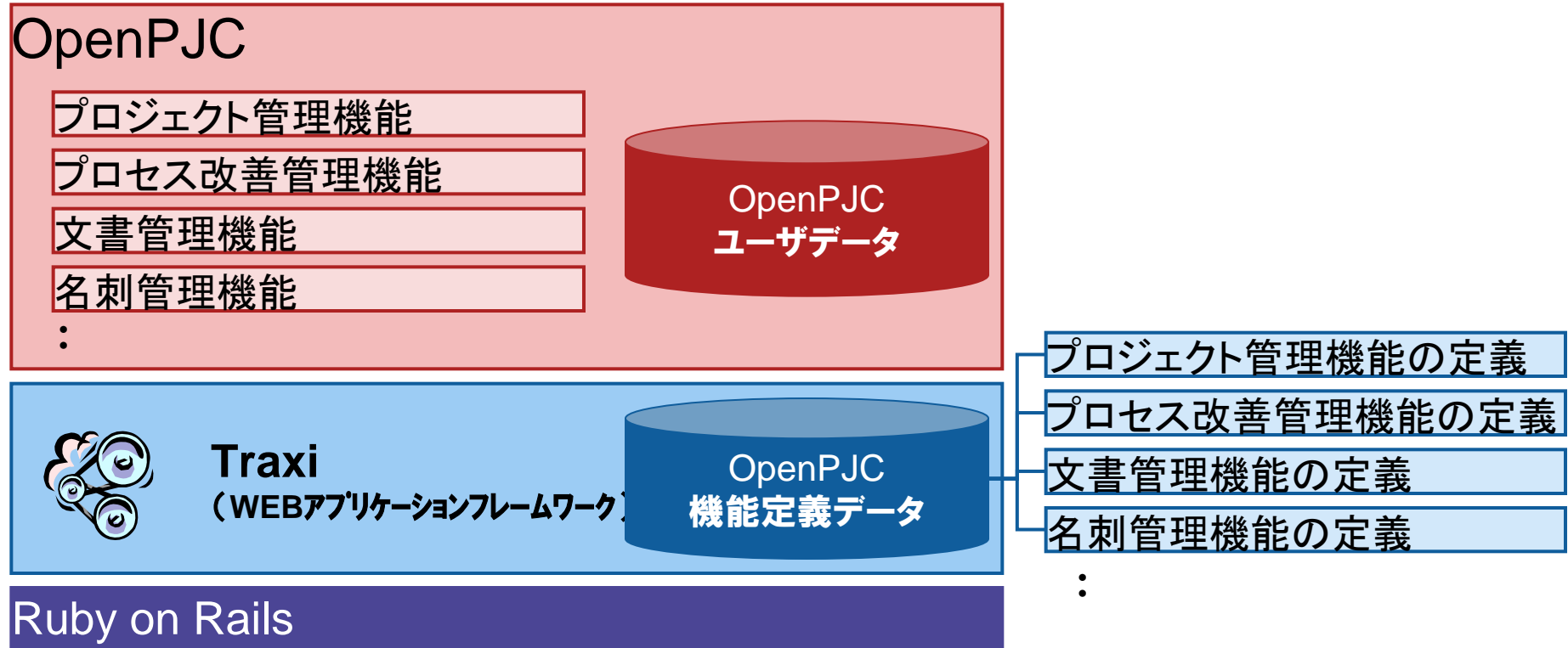


OSSアプリケーション開発 2009年度/2010年度



■ OpenPJCのフレームワーク「Traxi」公開 (2009年度)

<http://sourceforge.jp/projects/traxi/>



■ OpenPJCのツール「Customize Tool for Open PJC (CTOP)」公開 (2010年度)

<http://sourceforge.jp/projects/ctop/>

Traxi を用いて独自アプリケーションを開発したり、Open PJC をカスタマイズするための、Ruby on Rails ベースの専用開発ツール

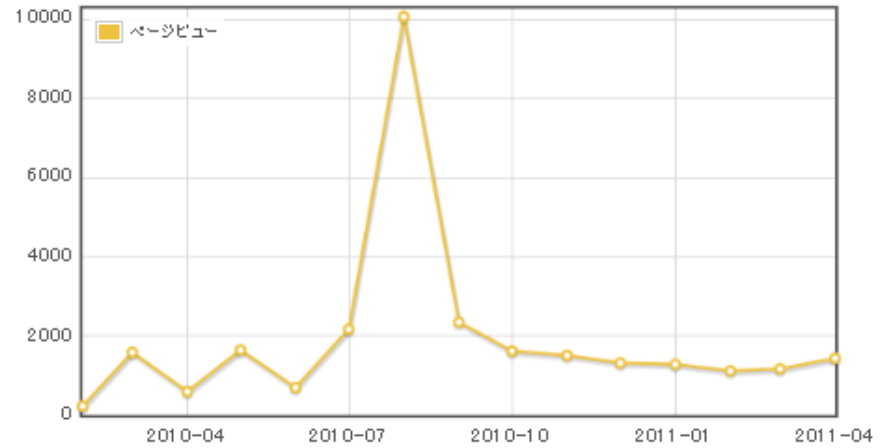
OSSアプリケーション開発 2009年度/2010年度



2010年度末での Download 数

- Download 総数(2011/4/27 時点): 711回
- Download 数の推移: 右のグラフ参照
- 備考

- ✓ プレスリリース(2010年7月30日)直後に Download 件数が爆発的に増加
- ✓ Seoul Training Camp(2010/11/2)にて紹介直後、瞬間 Download 件数が増加
- ✓ 東北学院大学情報科学シンポジウム(2011/2/22)にて紹介後、Download 件数が微増中



月	ページビュー	ダウンロード
2011年4月	1,434	19
2011年3月	1,167	13
2011年2月	1,116	11
2011年1月	1,282	23
2010年12月	1,318	40
2010年11月	1,507	28
2010年10月	1,617	39
2010年9月	2,349	64
2010年8月	10,079	366
2010年7月	2,172	60
2010年6月	693	6
2010年5月	1,642	29
2010年4月	591	11
2010年3月	1,584	2
2010年2月	223	0
全期間	28,774	711

■ Ruby on Rails検証報告書 公開(09年度2Q) 目次(抜粋)

1. はじめに	9
1.1 検証背景 1.2 検証 1.3 Ruby およびRuby on Rails の概要	
2. 検証計画	14
2.1 検証項目選定方針 2.2 検証環境	
3. 検証作業の概略	17
4. 検証結果	19
4.1 画面作成支援 4.2 DB 処理	
4.3 HTTP セッション管理 4.4 GUI によるデバッグ	
4.5 バッチ処理 4.6 規約に従っていないDB スキーマを採用した場合の制限	
4.7 SQL Server 2005 への接続 4.8 Web サービスによるシステム連携	
4.9 HTML の文字コード 4.10 SSL への対応 4.11 テストツールの調査	
4.12 ライセンス上の制約 4.13 出力ログ 4.14 運用監視項目	
4.15 SQL 文を明示的に発行する 4.16 開発に際しての留意事項	
5. 検証総括	63
6. 本報告書について	70
6.1 Ruby アプリケーションタスクフォースメンバ	
6.2 著作権 6.3 商標について	
A. 付録	72

■ OSSアプリケーションのSaaS対応 (J-SaaS対応)

お問い合せ ▶ サイトマップ

J-SaaS情報提供サイト

本サイトは2009年3月31日よりサービスを開始しましたオンライン型ITサービス「J-SaaS」の情報提供サイトです

TOP J-SaaSとは 開催情報 J-SaaS研修会の開催を希望される方へ 運営事務局

TOP > J-SaaSとは > J-SaaSサービス一覧

J-SaaSサービス一覧

いろいろ選べるね。

カテゴリ	アプリケーション名	ポイント	サービス提供企業名
プロジェクト管理	Project Collaboration for J-SaaS	業務プロセスの遂行をプロジェクトと捉え、会社・組織・チーム内におけるプロジェクト情報の共有化を図ります。更にノウハウや手順・段取り(WBS)をテンプレート化し、生産性や品質の効率化を実現します。	アースインターシステムズ(株)

OSSアプリケーション活動の広報 2008年度

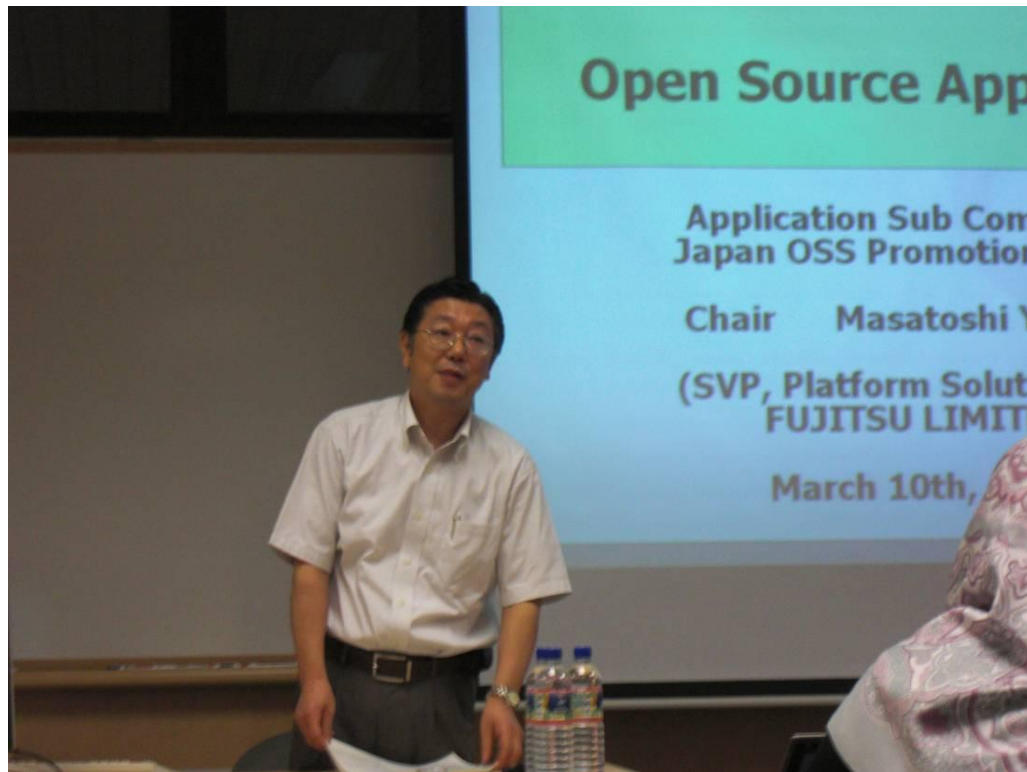
2008年10月31日 (中国 無錫市)
北東アジアOSS推進フォーラム
(富士通)吉田



2009年2月4日 (ネパール カトマンズ市)
アジアOSS人材育成研修(エッセンシャル研修)
(富士通)吉田

OSSアプリケーション活動の広報2009年度

2010年3月10日 (シンガポール市)
第6回 アジアOSSワークショップ(Singapore)
富士通) 吉田



OSSアプリケーション活動の広報

～ 各種コンファレンスに参加 ～

- TokyuRuby会議02(<http://regional.rubykaigi.org/tokyu02> (2010/5/29),参加人数: 45名)
- Ruby会議2010(<http://rubykaigi.org/2010/ja> (2010/8/27-29,参加人数: 747名)
- RubyWorld Conference 2010(<http://www.rubyworld-conf.org/ja/> (2010/9/6-7,加人数: 1108名)
- Seoul Training Camp(<http://www.9thneaossforum.org/> (2010/11/2,参加人数: 約50名)
- Ruby 東京プレゼンテーション(<http://www.f-ruby.com/news/event/15>
(2011/1/31,参加人数: 約110名)
- 東北学院大学情報科学シンポジウム (<http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/news/110131-1.shtml>
(2011/2/22,参加人数: 約50名) など

OSSアプリケーション活動の広報 2010年度

2010年5月29日 (大田区大森東地域センター)

Tokyu Ruby 会議 02

日本ユニシス)篠田さん



2010年9月6日 (くにびきメッセ)

RubyWorld Conference 2010

講演者集合写真

(富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ)原さん 他)



OSSアプリケーション活動の広報

～ 各種コンファレンスに参加 ～

- JRuby会議2011(<http://jrubykaigi.org/2011/> (2011/7/15、参加人数: 約80名)
- Ruby会議2011(<http://rubykaigi.org/2011/ja> (2011/7/16-18、参加人数: 約2000名)
- RubyWorld Conference 2011 <http://www.rubyworld-conf.org/ja/>
(2011/9/5-6、参加人数: 927名)
- Xi'an Training Camp (2011/10/16、参加人数: 約80名)
- Rubyビジネスフォーラム(2011/10/25、参加人数: 約100名)

OSSアプリケーション活動の広報 2011年度

2011年9月5日 (くにびきメッセ)
RubyWorld Conference 2011
シーイーシー)廣田さん



2011年9月6日 (くにびきメッセ)
RubyWorld Conference 2011
日立ソリューションズ)野崎さん

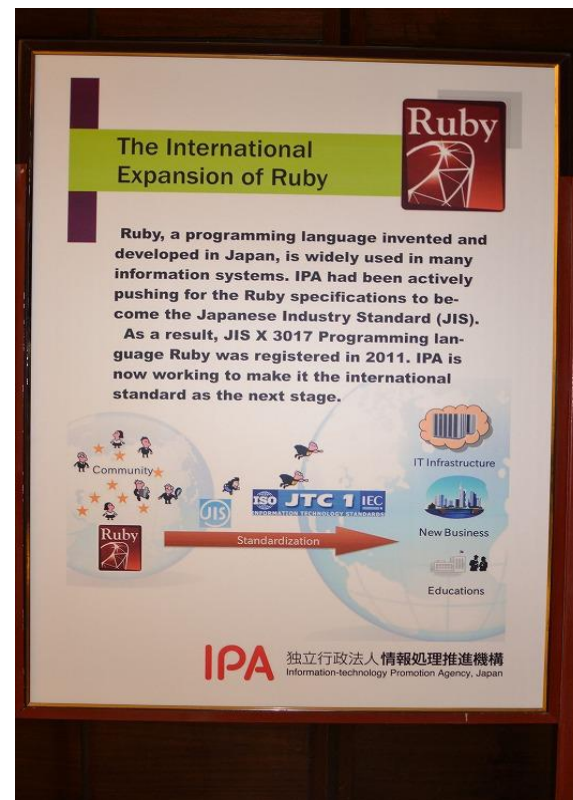


OSSアプリケーション活動の広報 2011年度

Rubyアプリケーションタスクフォース紹介

北東アジアOSS推進フォーラム 2011年10月16-18日 中国 西安市

- Xi'an Training Camp
- 事例のパネル展示



OSSアプリケーション活動の広報 2011年度

2011年10月16日 (西安市 Yohol Hotel)
Xi'an Training Camp
富士通ソーシャルサイエンスラボ(ラトリ)原さん



2011年10月25日(品川イースト 日立ソリューションズ)
Rubyビジネスフォーラム
富士通)吉田



■ Ruby on Railsベースのアプリケーション事例収集

参加企業のRubyアプリケーション事例の公開とプレスリリース

(2011年4月11日)

<http://www.ossforum.jp/node/1206>

- 水族館エンターテインメントシステム(株式会社日立ソリューションズ)
- 社内SNS「Knowlexis」(株式会社日立ソリューションズ)
- モバイル即版・集客ASPサービス「携帯モールナビ」(株式会社シーイーシー)
- 電子書籍連動コミュニケーションポータル「Japancraft.jp」(株式会社シーイーシー)
- 解析業務(CAE)運用システム(日本ユニシス株式会社)
- ききマネージ(富士通ソーシアルサイエンスラボラトリ)

➡ Rubyアソシエーション等とも協調して、更なる事例収集に努めたい。

